

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
2年	58	歯科補綴学

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-05				
	●									
科目名	歯科補綴学				単位認定者	依田 信裕 佐藤 奈央子		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	歯科補綴治療とは、歯の欠損やそれに伴う周囲組織の変化を、人工材料で修復して、形態・諸機能を回復させ、さらに歯の喪失などにより二次的に生じる障害を予防するものである。本科目では、歯科補綴学の概要を理解する上で必要な基礎的事項を理解し、次いで種々の歯科補綴物についての理解を深める。									
到達目標	歯科補綴学、補綴歯科診療に際して歯科衛生士に求められる必要最少限の知識を修得する。									
学修者への期待等	超高齢社会の現在、歯の喪失による咀嚼障害についての認識が高まり、特に有床義歯などの歯科補綴治療に対する関心が高まっている。歯科衛生士にはこれらのニーズに応じた歯科補綴治療を行う上での適切な知識が必要とされる。そのために、教科書等による予習・復習を十分に行うことを望む。									
回	授業計画					準備学習				
1	歯科補綴学概論：意義と目的（歯科補綴治療とはどんな事をするのか、歯科治療全体における歯科補綴治療の役割。（歯科治療と内科治療の違い、歯科治療と社会生活とのかかわり））					予習として教科書の序章「咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴」、および1章「歯科補綴の概要」を読んでおいて下さい。（1時間程度）				
2	歯科補綴治療の基礎事項：歯列弓の形態とその対合関係：歯列弓、咬合彎曲、咬合平面、対合関係、歯科補綴治療で重要な基準平面					歯科補綴治療の最も基礎知識を学びます。覚えることが多いので、予習・復習して十分理解して下さい。（1時間程度）				
3	補綴歯科治療における検査・診断：医療面接と診察、画像検査、咬合と顎口腔機能の検査					歯科補綴によりどのように機能が回復しうるかは、なぜ補綴治療が必要なのか患者さんに説明する上で重要な事項ですので十分理解してください。（1時間程度）				
4	クラウン・ブリッジ①：クラウン治療の概要、ブリッジ治療の概要、CAD/CAMクラウン治療概要					クラウン・ブリッジは日常臨床において頻度の高い重要な治療の一つです。ここでは基本知識を中心に予習しましょう。（1時間程度）				
5	クラウン・ブリッジ②：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助					クラウン・ブリッジ治療の流れ、各治療段階において準備する器材を覚えることは歯科衛生士業務として重要です。（1時間程度）				
6	クラウン・ブリッジ③：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応					クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応は臨床において重要です。教科書の該当箇所を予習してください。（1時間程度）				
7	全部床義歯①：全部床義歯治療の概要、全部床義歯治療の流れと診療の補助					全部床義歯は、歯科補綴学において「咬合」を学ぶ上で大切な事項が多く存在します。まずは基本知識・治療の流れについて予習しましょう。（1時間程度）				
8	全部床義歯②：全部床義歯の装着、患者への説明と指導、全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応					全部床義歯装着後はしっかりとメンテナンスすることが重要です。患者への説明と指導、全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応について予習してください。（1時間程度）				
9	部分床義歯①：部分床義歯治療の概要、部分床義歯治療の流れと診療の補助					部分床義歯治療は、適用範囲が広く、高頻度治療です。治療の流れは複雑ですので十分に教科書を予習してください。（1時間程度）				
10	部分床義歯②：部分床義歯の装着、患者への説明と指導、部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応					部分床義歯装着後もメンテナンスが重要です。また、治療後のトラブルとその対応も複雑ですので、しっかりと予習してください。（1時間程度）				
11	インプラント①：インプラント治療の概要、インプラント治療の流れと診療の補助					インプラント治療は補綴治療の一選択肢として確立された方法です。その概要や治療の流れについて教科書をしっかりと予習してください。（1時間程度）				
12	インプラント②：インプラント治療の流れと診療の補助、上下無歯顎症例に対するインプラント治療、インプラント治療に伴うトラブルとその対応					インプラント治療は様々な欠損形態に応用可能です。また、高額治療でもあるので、治療後のトラブル対応は他の治療に比較して重要度が高いです。良く予習しましょう。（1時間程度）				
13	インプラント③：インプラントのメンテナンス、天然歯との相違、使用すべき器材、症例供覧					インプラント治療後のメンテナンスは歯科衛生士として重要な業務の一つです。生物学的な基礎知識をしっかりと予習してください。（1時間程度）				
14	特殊な口腔内装置を用いる治療：顎顔面補綴治療、構音・嚥下機能の補助治療、顎関節と歯ぎしりの治療、スポーツ外傷の予防、睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療、					これまで学んだ補綴装置以外にも、多くの補綴装置が存在します。ここでは様々な補綴装置の基礎を学びますので、教科書の該当箇所を事前に予習して下さい。（1時間程度）				
15	器材の管理：感染予防策、滅菌、消毒、洗浄、保管 歯科補綴学のまとめ：国家試験問題の傾向と対策					感染予防対策は全ての診療の基本ですので、復習し十分に理解してください。また、国家試験の動向を踏まえ、歯科補綴をまとめます。				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	講義は対面授業にて行う。状況により遠隔授業（録画またはZOOM等使用）の可能性もある。 【担当】第1回～第7回：依田信裕、第8回～第15回：佐藤奈央子									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

歯科医師として様々な症例を経験してきた。その実務経験を活かし、補綴歯科治療全般に関わる知識や技術に関して、実臨床に則した具体的な授業を展開する。